

涙も思い出
笑顔も思い出
これからもずっと友達だよ。

3月10日に三和中学校を
卒業した3年1組の皆さん
1組の「1」で
笑顔でポーズ



こ が
古 河

広
報

No.139

4

APRIL
2017

平成29年度施政方針

市民と共に 未来に誇れるまちづくり

3月1日、第1回市議会定例会が開会し、針谷力市長が平成29年度の市政運営の基本姿勢を示す「施政方針」を述べました。ここでは、市長が示す基本方針と主な事業の内容を要約して紹介します。

なお、施政方針の全文は市公式ホームページに掲載しています。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

古河市の明るい未来のために*

本年は1月6日に日野自動車古河工場が全面稼働し、また、圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の茨城県区間が2月26日に全線開通するという本市のまちづくりに大きな影響を与えるニュースから始まりました。

自動車産業の進出と圏央道の開通という本市の未来に大きなインパクトを与える機会を最大限に活用するため、立地の優位性を生かした関連企業の誘致活動を積極的に行うと

もに、地元雇用の創出や地域経済の活性化を図ります。

本市は歴史、伝統、文化などの特性を大切に受け継ぎながら、まちづくりの礎を築いてきました。私は本年を「未来の古河市を築く飛躍の年」と位置付け、さらなる魅力あふれるまちを創造していく決意を胸に、職員とともに、市民の皆さまや議会のご協力を賜りながら、明るい未来を見据え全力で市政運営に努めてまいります。





「華のある都市 古河」の実現へ

厚生労働省が実施している人口動態統計の年間推計によると、平成28年は、出生数が統計開始以来初めて100万人を割ると発表されています。本市も合併時と比較すると明らかに人口が減少（約4,000人）し、少子高齢化（高齢化率26.4%）が顕在化しています。

私は、「持続可能な都市」を構築するため、今後の方向性を示す羅針盤ともいえるべき「第2次古河市総合計画」「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本として、未来のまちの姿「華のある都市 古河」の実現を目指します。

また、本市は商工農の産業バランスが良い市であり、この魅力を維持しながら発展していくことが古河の強みとなります。恵まれた産業構造を基盤として、子育てがしやすい、働きやすい、老後が暮らしやすい政策を実行し、特定の年代に偏らないバランスの取れた快適で住みよいまちを創ります。

さて、経済の動向を見ますと、国の経済政策の推進もあり、内閣府の1月の月例経済報告では、「一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」との判断が示されています。しかし、景気の回復を国民全員が実感しているとは言い難く、先行きが不透明な状況は依然として変わっておりません。

本市の財政に目を向けますと、社会保障給付関係経費の増加、都市基盤整備、老朽化した公共施設等への対応など多額の財政需要が

想定されるなか、地方交付税は合併特例措置額の段階的な減額により、4年後の平成32年度には約10億円もの大幅な減収が見込まれることから、引き続き健全な財政運営が必要不可欠となっています。こうした状況を踏まえ、当初予算の編成には、中長期的な財政構造の変化にも柔軟に対応しつつ、本市のさらなる飛躍と発展のため各施策の着実な推進に努めたところです。

組織体制につきましては、職員数の減少や行政需要の課題が複雑・多様化する中で、より効率的な行政運営が求められており、それらを踏まえながら、市民サービスの向上と業務間の連携を図る観点で組織の改編を行います。なお、「新市建設計画」の先導的プロジェクト等を推進するため、プロジェクト推進室を設置します。

人口減少問題や少子高齢化対策など、本市が取り組むべき課題は少なくありませんが、真に市民生活に必要な行政サービスの提供を持続可能なものとするため、いかなる課題に対しても、情熱とスピード感を持って着実に対応し、本市の未来を確かなものにすることが、私に付託された責任であり、使命です。

古河の魅力、特徴を生かし、本市のより一層の発展のため、「対話」と「行動」を基本姿勢として市政運営に全力で取り組む覚悟です。私はこれからの4年間「市民と共に未来に誇れるまちづくり」を念頭に、市長選挙の際に掲げました5つの約束の実現に向け、積極果敢に全力で取り組んでまいります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

主 な 事 業

主な事業を7項目に分類して紹介します。
新規事業は **新規**、拡充した事業は **拡充**
で表しています。

【問】財政課(総和庁舎) ☎92-3111

市民協働

地域 みんなで古河をつくる

●地域づくり活動の支援

市民が主体となる住民自治のまちづくりの推進に向けて、自治組織に対する財政的支援を行います。

●コミュニティ活動の育成・強化

地区コミュニティに財政的な支援を行い、活動の活性化を図ります。また、市内全域でコミュニティ活動の推進が図れるように「古河市コミュニティ推進協議会」の組織化に向け準備を進めます。



▲5つの地区コミュニティ団体が力を合わせ、新4号国道バイパスの清掃活動を行っています

●男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会を実現するため、「第2次古河市男女共同参画プラン」のもと、ワーク・ライフ・バランスの推進や政策・方針決定の場への女性参画を促進します。



健康福祉

互いに支え合う古河をつくる

●子育て支援の取り組み

・上辺見保育所の建て替え

古河赤十字病院跡地に老朽化した上辺見保育所の移転・建て替えを進めています。定員規模を現行の120人から最大180人に拡大し、待機児童の解消に努めます。平成29年度は実施設計と建設工事に着手します。

・仁連小児童クラブの改修

仁連小学校特別教室棟にある児童クラブを改修し、児童の安全確保と健全な育成を図ります。

●ひとり親家庭の支援

・ひとり親家庭への負担軽減

児童クラブの保護者負担金および小学校の給食費を全額助成します。

対象世帯：年収約360万円(市民税所得割課税額7万7,100円)未満のひとり親世帯

※ひとり親世帯の保育料の軽減については、国の制度により年収約360万円未満の優遇措置として、第1子の保育料を半額とし、第2子以降の保育料無償化を実施します。

●地域の救急医療機関への支援

・公的医療機関への運営助成 **拡充**

地域医療を担う公的医療機関に対し、救急医療の確保および地域医療の充実を図ることを目的に運営助成を行います。

対象医療機関：茨城西南医療センター病院
古河赤十字病院

・私的二次医療機関への助成

県の定める医療計画に二次医療機関として位置付けられた私的病院に対し、救急搬送患者の受入数に応じて助成を行います。

対象医療機関：友愛記念病院



教育文化

人が育ち文化の息づく古河をつくる

●学力向上のための取り組み

・英語教育の推進 **拡充**

市内小学校が英語教育の教育課程特例校(英語特区制度)に指定されたことにより、ALT(外国語指導助手)を14人から20人に増員し、小学1年生から6年生まで週1時間の英語活動を実施します。

※詳しくは7ページを参照。

・小学校ICT機器の活用

学力向上を目的にICT機器(タブレット端末)、デジタル教科書等の教育用ソフトや投影機等を活用した授業を展開します。

●茨城国体開催に向けた運営準備・競技の支援

平成31年度開催の茨城国体に向け、実行委員会等を設置し、大会運営の準備や大会PRを行います。また、開催競技の綱引と少林寺拳法について、競技の普及促進とチームの育成を図ります。

●(仮称)三和地域交流センターの建設

平成30年9月の完成を目指して、老朽化した三和公民館を解体し、新たに(仮称)三和地域交流センターを建設します。平成29年度は本体工事を行います。

●中央運動公園陸上競技場の改修 **新規**

中央運動公園陸上競技場を公認競技場として維持するため、トラック等の改修工事と備品の整備を行います。



▲陸上競技大会のほか、運動会など毎年多くの行事で使用される陸上競技場

産業労働

活力と賑わいのある古河をつくる

●若者・子育て世帯への定住促進奨励金交付

企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の転入者に対し奨励金を交付し、古河市への定住を促進します。

●企業誘致の推進

市の産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、指定地域(工業地域、工業専用地域ほか)に条件を満たす製造業の工場を立地した企業に「企業立地促進奨励金」を交付し、企業進出の支援と関連企業の誘致に取り組みます。

●銘柄産地育成への支援

農協、生産者団体と協力しながら、産地のPRや銘柄農産物の加工による高付加価値化に向けての取り組みを支援します。また、平成29年度から専門家を活用したブランド化を推進します。



▲昨年は、茨城県のアンテナショップ「茨城マルシェ」でトウモロコシなど新鮮野菜をPR

●ふるさと納税制度の活用

ふるさと納税制度を活用し市の物産等を広くPRするとともに、販売促進を図ります。



生活環境

安全で快適な古河をつくる

●災害対策

・災害情報伝達手段の強化

災害時における避難情報等の伝達手段を強化するための整備を行います。

○デジタル防災行政無線(屋外拡声子局)

15基増設

○電柱に標高を示す洪水標識の設置

・耐震性貯水槽の整備

被災後、インフラ設備が復旧するまで市民へ供給する飲料水を確保できるよう、三和健康ふれあいスポーツセンターに貯水施設を整備します。

●中央町広場消防施設の整備

古河駅西口の消防力の充実・強化を図るため、中央町広場隣接地に常備消防施設を整備します。平成29年度は実施設計と用地(1,223㎡)の購入を行い、平成32年度の完成を目指します。



行財政

古河づくりを支える行政経営

●窓口業務時間延長の実施

市民へのサービス向上のため平成28年5月から実施していた窓口業務の時間延長を、引き続き実施します。

実施日：毎週木曜日〔祝日・年末年始を除く〕午後5時15分～7時

場所：総和第2庁舎

(市民総合窓口課、子ども福祉課)

実施内容：諸証明の発行、転出入に伴う業務等

都市基盤

魅力的で利便性の高い古河をつくる

●(仮称)南古河駅の設置に関する基礎調査

新規

(仮称)南古河駅予定地周辺において、魅力ある新市街地の整備を促進し、東北本線新駅「(仮称)南古河駅」の設置を目指します。平成29年度は、新駅設置に関する基礎調査を実施します。

●仁連地区新産業用地開発の促進

新規

圏央道の県内区間全面開通に伴う市内への企業等の立地促進を図るため、仁連地区における新たな受け皿となる新産業用地の設計・用地取得・造成工事を行います。

●道路環境の整備

・柳橋下大野線(筑西幹線道路)の整備

新4号国道バイパス柳橋北交差点から西側の県道境間々田線の区間(柳橋下大野線)を拡幅します。平成29年度は用地取得・物件補償に加え、既存の橋の取り壊しと橋の新設に向けた工事を行います。



●情報発信の充実

・市公式ホームページのリニューアル

市公式ホームページをリニューアルし、多くの人が見やすく使いやすいサイトになるように努めます。

・市外への情報発信

若者・子育て世代の増加を図るため、シティプロモーションを実施します。PR専用ウェブサイトを開設し、古河市の概要や子育て関連情報、市内施設情報等を市外の人へ発信します。



英語特区スタート



～市立小学校が英語教育の教育課程特例校に指定されました～

文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、平成29年度から市立小学校の全学年で英語活動を実施します。

小学1年生から発達段階に応じて楽しく英語に触れることでコミュニケーション能力の素地をつくり、中学校へつなぎます。

9年間途切れない英語教育により、グローバル化に対応した人材育成の一翼を担います。

【問】指導課(古河庁舎) ☎22-5111



英語特区とは

文部科学省は、学校の特色を生かして特別の教育課程を編成し、教育を実施することができる学校(「教育課程特例校」という)を指定することができます。指定を受けた学校や地域を「特区」と呼びます。

古河市は、特に英語教育に関する特別な教育課程を編成する指定を受けました。



グローバル化が進むなか、コミュニケーション能力や国際共通語としての英語の重要性はますます高まっています。

市では、子どもたちの英語でのコミュニケーション能力が高まるよう、英語特区事業を進めていきます。

ご家庭や地域の皆様のご理解ご協力をお願いします。



古河市役所、

4月1日から

新たな組織機構で始動！



総和庁舎本庁



市では、4月1日から組織機構の一部を変更しました。これまでの10部5局51課10室から10部50課11室になります。

組織機構改革の実施は、限られた行政資源を最大限活用し、市の政策を実現するために行うものです。組織をスリム化し柔軟性を持たせるとともに、市民サービスの向上や地域活性化に努めます。

【問】職員課(総和庁舎) ☎92-3111



組織の再編・新設の主な内容

「プロジェクト推進室」の設置

新市建設計画の先導的プロジェクト等を推進するため「プロジェクト推進室」を企画課に設置しました。

部の名称変更

- 市長公室を「企画政策部」に変更
- 産業文化部を「産業部」に変更



その他の変更

- 子育て支援課と子ども入園課を「子ども福祉課」に再編
- 子ども福祉課と市立保育所7カ所を健康福祉部に移管
- 産業文化部の生涯学習課、施設管理課、スポーツ振興課を教育部に移管





新組織と主な業務内容

部・局	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号
企画政策部	秘書広報課	総和庁舎3階	秘書、広報、ホームページ	☎92-3111
	企画課	総和庁舎2階	総合計画、広域行政、行政改革、姉妹都市	
	プロジェクト推進室		先導的プロジェクト等に関する業務	
	情報統計課	総和第3庁舎	情報処理、情報セキュリティ対策、統計	
総務部	総務課	総和庁舎2階	情報公開、文書管理、公共交通、例規審査	☎92-3111
	職員課	総和庁舎4階	人事、給与、職員研修、福利厚生	
	契約検査課	総和庁舎1階	入札参加資格審査、契約、検査	
	危機管理課	総和庁舎2階	危機管理	
財政部	財政課	総和庁舎4階	財政、予算	☎92-3111
	収納課	古河庁舎1階	市税等の徴収、納税相談、滞納整理	☎22-5111
	市民税課		個人・法人住民税、軽自動車税、税証明	
	資産税課		固定資産税、都市計画税	
	財産活用課	総和庁舎1階	市有財産管理、公用車・市バス管理	☎92-3111
生活安全部	市民協働課	総和庁舎1階	住民自治活動、コミュニティ活動、NPO	☎92-3111
	人権・男女共同参画室	総和第2庁舎2階	人権対策、男女共同参画	
	隣保館			
	市民総合窓口課	総和第2庁舎1階	戸籍、住民票、国民健康保険、後期高齢	☎92-3111
	三和庁舎市民総合窓口室	三和庁舎1階	者医療、国民年金、税証明、福祉申請	☎76-1511
	古河庁舎市民総合窓口室	古河庁舎1階	戸籍、住民票、福祉申請、パスポート	☎22-5111
	国保年金課	古河庁舎1階	国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金	☎22-5111
	防災交通課	総和庁舎2階	防災、消防、交通安全・防犯対策	☎92-3111
	環境課	三和庁舎1階	環境政策、環境保全、ごみ・公害対策	☎76-1511
	環境施設管理室	古河クリーンセンター	古河クリーンセンター・渡良瀬処理場管理	☎22-6353
	古河クリーンセンター	※新設、名称変更、移転をした部署は色(■)がついています。		

古河庁舎

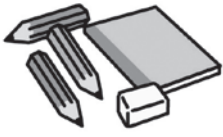


三和庁舎



部	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号
健康福祉部	福祉総務課	総和福祉センター 「健康の駅」1階	社会福祉団体、援護、地域福祉、給付金	☎92-5771
	生活保護課		生活相談、生活保護	☎92-4960
	障がい福祉課		障害福祉サービス、障害者手帳	☎92-4919
	高齢福祉課		高齢者福祉サービス、介護予防事業	☎92-5838
	地域包括支援センター		介護予防プラン作成、高齢者総合相談	☎92-5920
	子ども福祉課	総和第2庁舎2階	児童手当、児童扶養手当、児童・女性相談、保育所、幼稚園、認定こども園、児童クラブ	☎92-3111
	保育所（7）			
	介護保険課	総和福祉センター 「健康の駅」2階	介護認定、介護保険管理、介護保険料	☎92-4921
	健康づくり課	古河福祉の森会館	成人保健、母子保健、健康推進	☎48-6881
	児童発達支援センター		児童発達支援、保育所・学校訪問支援	☎48-6884
	古河福祉の森診療所			
	尾崎国民健康保険診療所			
産業部	商工政策課	古河庁舎2階	商工振興、労政、中小企業金融	☎22-5111
	企業誘致・定住促進室		企業誘致、定住促進	
	消費生活センター		消費者相談 [相談電話：☎23-1718]	
	観光物産課		観光振興、物産振興、フィルムコミッション	
	農政課	三和庁舎2階	農業振興、農産、農政、担い手育成	☎76-1511
	土地改良課		農地整備、農業用排水	
都市建設部	都市計画課	三和庁舎2階	計画調整、都市計画道路整備、公園緑地	☎76-1511
	工業団地開発推進室		工業団地の計画・整備	
	区画整理課		土地区画整理事業の計画・換地・工事	
	建築指導課		建築指導、建築審査、宅地開発	
	道路整備課	三和庁舎1階	整備計画、道路改良工事、維持補修	
	用地管理課		道路等占用・工事許可、地籍調査	
	営繕住宅課		公共施設の設計・工事監理、市営住宅	
上下水道部	下水道整備課	三和庁舎1階	整備計画、工事、受益者負担金・分担金	
	下水道管理課		管路等の維持管理、排水設備、使用料	
	水道課		給水申込書受付、検針、水道料金	
	水道施設室	三和浄水場	工事、施設の運転・維持管理	☎76-3780
	三和浄水場			
	思川浄水場			
会計管理者	会計課	総和庁舎1階	公金の出納・保管、審査	☎92-3111

※新設、名称変更、移転をした部署は色(■)がついています。

部	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号
教育部	教育総務課	古河庁舎2階	教育委員会会議、学区、就学、就学援助、健診	☎22-5111
	小学校(23)、中学校(9)			
	教育環境整備課	古河庁舎2階	学校施設の維持管理、修繕、改築	☎22-5111
	指導課		学校教育の指導・助言、教育相談	
	学校給食課	学校給食センター	学校給食施設の管理運営、学校給食費	☎98-3555
	学校給食センター			
	生涯学習課	古河庁舎2階	生涯学習、青少年、文化振興、文化財保護	☎22-5111
	古河歴史博物館			
	三和資料館			
	篆刻美術館			
	古河街角美術館			
	古河文学館			
	施設管理課	中央公民館	社会教育施設(公民館・図書館等)管理運営	☎92-3111
	公民館等施設(11)			
	古河図書館			
	三和図書館			
	スポーツ振興課	古河庁舎2階	スポーツの推進、社会体育施設等管理運営 スポーツの振興、各種大会、団体活動支援	☎22-5111
	茨城国体推進室		茨城国体開催準備	
	中央運動公園			
	古河体育館			
市議会	事務局	古河庁舎3階	定例会、請願・陳情、議会報の発行	☎22-5111
農業委員会	事務局	三和庁舎2階	農業委員会会議、農地法申請	☎76-1511
監査委員	事務局	総和庁舎1階	定期監査、決算審査、現金出納検査	☎92-3111
選挙管理委員会	事務局		各種選挙の執行・管理、選挙啓発	
公平委員会	事務局		職員の措置要求審査、不服申し立て	
固定資産評価 審査委員会	事務局		固定資産税課税台帳に登録された価格についての不服審査	

※新設、名称変更、移転をした部署は色(■)がついています。

「健康の駅」
▶総和福祉センター



▶古河福祉の森会館

利根川
決壊口



▲利根川決壊口からの濁流



▲旧栗橋町の浸水状況(現・久喜市)



▲東京都葛飾区の浸水状況

東武日光線

利根川

渡良瀬川

東北本線

利根川橋

渡良瀬川
決壊口

2017年は、利根川決潰
カスリーン台風から70年

※カスリーン台風では、堤防が切れて完全に崩れたため「決潰」の文字を使用しています。現在では「決壊」も同じ意味で使用されています。

昭和22(1947)年9月、 カスリーン台風で利根川が決潰してから 70年になりました

昭和22年9月のカスリーン台風による洪水は、明治・大正・昭和・平成の時代を通じて最大の洪水となり、未曾有の大水害となりました。特に埼玉県側では幅350mの大決壊となり、濁流が東京都江戸川区まで水没させる甚大な被害をもたらしました。

そのカスリーン台風から今年で70年になります。市では、水害の恐ろしさ、防災避難の重要性をあらためて認識していただくため、国や利根川流域の市町村等と連携して、さまざまな取り組みを行っていきます。

【問】道路整備課(三和庁舎) ☎76-1511

水害被害を忘れないために

古河市を含む利根川上流流域の49市区町で「カスリーン台風70年実行委員会」を設置し、水害の恐ろしさを忘れないためにパネル展などで広報・啓発を行います。

河川のことをより理解するために

小・中学生を対象に、利根川についてより深く知ってもらうため、「こども利根川研究・活動発表会」を開催し、子どもたちの河川理解のきっかけづくりを行います。

■決壊の状況

氾濫面積	約440km ²
浸水域内人口	約60万人
被害額	約70億円(一般資産＋農作物等)
最高水位	9.17m(栗橋、9月16日午前0時20分)

(出典：利根川決壊)



◀堤防が決壊し濁流が流れ込む旧大利根町(現・加須市)

■関東の被害状況

都県名	家屋浸水(戸)		家屋流出倒壊(戸)	家屋半壊(戸)	死者(人)	負傷者(人)	田畑の浸水(ha)
	床上	床下					
東京	72,945	15,485	56	0	8	138	2,349
千葉	263	654	0	6	4	0	2,010
埼玉	44,610	34,334	1,118	2,116	86	1,394	66,524
群馬	31,091	39,938	19,936	1,948	592	315	62,300
茨城	10,482	7,716	209	75	58	23	19,204
栃木		45,642	2,417	3,500	352	550	24,402
合計		303,160	23,736	7,645	1,100	2,420	176,789

(出典：利根川百年史)



東京まで浸水被害があったんだね。70年前のことだと、被害のイメージがなかなかできないなあ～。

平成27年9月の関東・東北豪雨で決壊した鬼怒川周辺の被害状況と比較すると、被害の大きさが分かりますね(下表参照)。



■カスリーン台風と関東・東北豪雨の被害比較

	カスリーン台風	関東・東北豪雨 (茨城県の被害状況)
氾濫面積	約440km ²	約40km ² *
住宅被害(全壊・半壊)	31,381戸	5,551戸
家屋浸水(床上・床下)	303,160戸	3,982戸
総降水量(最大)	611mm(秩父)	647.5mm(今市)
総降水量(近隣)	341mm(熊谷)	298.5mm(古河)

※関東・東北豪雨の氾濫面積は鬼怒川流域での面積。

これからも、豪雨被害が想定されるので、避難に備えた準備が必要です。



■もう一度考えよう！災害に備えた心構え

避難について確認しよう！



家族で避難場所や連絡方法をしっかり確認しておきましょう



避難場所の確認や道順を実際に確認しておきましょう。

非常用品を備えておこう！

水

- ・1人1日3リットルが目安(3日分)
- ・生活用水も十分に確保

食料

- ・用意する食料は最低3日分
- ・火を使わない食料を用意

光熱

- ・懐中電灯を家族1人に1個用意
- ・卓上用カセットコンロはがあると便利



65歳以上の皆さん
参加をお待ち
しています！

シニアボランティアポイント事業

平成28年10月1日から「シニアボランティアポイント事業」を行っています。
市内の対象施設でボランティア活動をすると、活動時間に応じてポイントを
獲得し、ためたポイントを換金できる制度です。

ご自身の介護予防や健康増進のために、ボランティアに参加してみませんか。
【問】 高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」) ☎92-5838

事業の流れ

1 登録講座を受講(年数回実施)

対象

市内在住の65歳以上の人

○要介護・要介護認定を受けている人、総合
事業対象者は事業に参加できません

○介護保険料を滞納している人は、事業に参加
することはできますが、換金はできません

登録講座のご案内

日時 4月28日(金)

午前10時～11時30分

場所 総和福祉センター「健康の駅」

申込 4月10日(月)～17日(月)に電話
で申し込み
※事前予約が必要です。

2 受け入れ施設に連絡・日程調整

3 ボランティア活動

内容

介護保険施設で

- ・趣味を生かした活動(楽器演奏や囲碁など)
- ・お話相手 など

児童クラブで

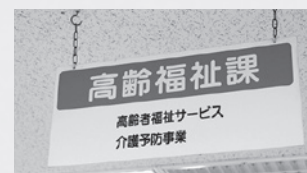
- ・紙芝居、絵本の読み聞かせ
- ・昔遊びの伝承 など

4 ポイント集め



- おおむね1時間＝1ポイント
- 1日最大2ポイントためることができます

5 ポイントを交換



- 申請期間：3月1日～31日
- 年間50ポイント以上で5,000円に換金

活動の様子取材しました！



特別養護老人ホーム 四季の郷^{さと}で
洗車のボランティアをしています

小林^{まさあき}正昭さん・幸子^{さちこ}さん(尾崎在住)
・ご夫婦で参加
・月2回のペースで1回2時間程度
活動しています



幸子さん

結構、汗もかきますし、
いい運動になりますよ。
年齢的に激しい運動がで
きないので、ちょうどいい
ですね。



正昭さん

ピカピカになるとうれしい
ので、気づくと一生懸命に
なって洗っています。
自分の車はあまり洗わない
ですけどね(笑)。

参加のきっかけ・やりがいを伺いました



自分のペースで活動ができ、場所も
自宅から近い所を選びました。

車の部品製造の仕事をしていま
した。このボランティアにも少し役に
立っているかもしれません。



介護ボランティアなどの仕事を探して
いたので、この事業に参加しました。

外出のいい機会になるし、体を動かす
ことで健康づくりにもつながっています。

古河市民大学で 一緒に学びませんか！

4月3日(月)
日直
荒田
初中

平成28年10月から、市民の生涯学習活動を推進するために「古河市民大学」を開講し、6カ月で約600人が受講しました。

知っていそうで知らない古河のことや、生活に役立つ豆知識などを学べる講座を平成29年度もたくさん用意してお待ちしています。ぜひ、みんなで身近な発見をしてみませんか。

【問】生涯学習課(古河庁舎) ☎22-5111

どんな講座かちょっと紹介！

平成28年度は、防災講座や歴史・文化、子育てなどの講座を開催しました。

古河市民大学ってどんな講座が開催されているのか分かりませんよね。受講してみるとみんな大満足の講座にはこんなものがありますよ。

大人女子のための自分磨き講座



体験できる講座は人気がありそうですね。

自分で作ったお香で癒されたいわあ〜。

考古学講座



市内にこんな古い遺跡があったの！

味噌づくり講座



味噌のできあがりを楽しみだね。

スポーツ振興くじ助成金を活用 中央運動公園体育館の床を改修



▲きれいになったアリーナで汗を流しませんか

古河はなもも体育館(中央運動公園体育館)の床が老朽化したため、スポーツ振興くじ助成金を活用し、アリーナ、卓球場、2階ジョギングコースなどの床改修を行いました。

スポーツ振興くじ助成金は、地域のスポーツ振興や施設整備などを支援する独立行政法人日本スポーツ振興センターが、スポーツくじ(toto、BIG)の収益を財源に行っています。

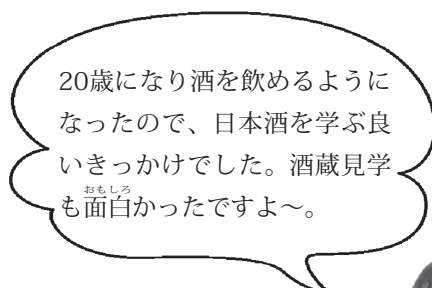
市では、平成28年度に1,600万円(事業費4,232万円)の助成を受け、体育館の床を改修。1月に工事が完了し、すでにイベントや大会で活用しています。

講師、受講生の感想



受講生の多さにビックリしました。急須で入れるお茶のおいしさを知ってもらえて良かったです。

講師の声(大人女子のための
自分磨き講座)鈴木宏太郎さん



20歳になり酒を飲めるようになったので、日本酒を学ぶ良いきっかけでした。酒蔵見学も面白かったですよ～。

受講生の声(日本酒講座)
田口遥介さん

充実した講座内容(前期分)

講座名	開催日	時間	会場	定員
花火学講座 ～花火の仕組みを学び工場見学～	①5月11日(木) ②5月13日(土)	午後7時～9時 午前9時30分～正午	①スペースU古河 ②花火製造工場	16人
渡良瀬遊水地講座 ～身近な宝物「遊水地」を知る～	①5月19日(金) ②5月23日(火)	午前10時～正午	①古河ゴルフリンクス ②渡良瀬遊水地	30人
防災講座 ～水害から身を守るために～	7月1日(土)	午前10時30分～ 午後3時	古河福祉の森会館	50人
子育てカフェ！ ～わたしの子育て～	7月22日(土)	午前10時～正午	中央運動公園温水プール 2階多目的室	20人
病と民俗 ～病と対峙してきた意味～	①8月31日(木) ②9月 7日(木)	午後7時～8時30分	中央公民館	30人
大人女子のための自分磨き講座 ～季節を思う美容～	①9月 8日(金) ②9月15日(金)	午後6時30分～ 8時30分	いちようプラザ (駅西地域交流センター)	15人

※開催日時・会場・定員等は変更になることがあります。

※申込方法等については、随時広報古河お知らせページに掲載します。

副市長就任

平成26年4月1日から3年間、副市長を務めた山口裕之氏の退任に伴い、4月1日付で青木善和氏が副市長に就任しました。

【主な職歴】

昭和50年7月古河市役所入庁、福祉部長、財政部長、茨城西南地方広域市町村圏事務組合事務局長



青木善和
副市長

教育長就任

平成25年11月19日から平成28年12月12日まで教育長を務めた佐川康二氏の退任に伴い、3月17日付で鈴木章二氏が教育長に就任しました。

【主な職歴】

古河第二中学校校長、諸川小学校校長、三和中学校校長、古河市教育委員会委員



鈴木章二
教育長

注目！ まちの話題



卒業証書授与式
希望を胸に新たな生活へ

市内9中学校で3月10日に、市内23小学校で3月22日に卒業式が行われました。小学生1,316人、中学生1,224人が義務教育課程を修了し、大きな希望を抱いて飛び立ちました。

式典では、卒業生からお世話になった先生やお父さん、お母さんへの感謝の気持ちと母校を守る後輩たちへのエールが送られました。

学校で過ごした楽しい思い出を胸に、今月から始まる新たな生活も、みんなで助け合い、笑顔で突き進んでください。



▲三和中学校では130人の生徒が巣立ちました。いっぱい詰まった思い出を胸にがんばってください



災害協定締結式
避難所等の環境向上に努めます



▲市と協定を結んだ監物孝子代表取締役と監物祐三専務取締役

2月27日、市と株式会社ユーケン(仁連)は、「災害時における仮設トイレの設置に関する協定」を締結しました。地震や風水害等の大規模な災害が発生した場合、市の要請に基づいて仮設トイレを優先的に運搬し、避難所や防災拠点に速やかに設置することが可能になります。

災害発生時に多くの人々が身を寄せる避難所では、避難者の体調と衛生環境の悪化を防ぐことは重要な課題の一つです。市内事業所との協力・連携により、衛生面・健康面で市民の皆さんをサポートします。



日ごろの訓練の成果を再確認
古河市消防春季点検式



▲団員たちの機敏な動きから、地域を守る頼もしさが伝わってきました

2月26日、中央運動公園で古河市消防春季点検式が行われました。消防団員426人が一堂に会し、服装や姿勢などの通常点検や消防ポンプ自動車の機械器具点検、一斉放水などを実施。きびきびと規律のとれた消防団員の姿からは、「地域の安全安心を自分たちで守る」という強い決意が感じられました。

また、古河鳶一番組などによる伝統の「まとい振り、はしご乗り、木遣り歌」や、三田幼稚園の幼年消防隊による「防火の誓い」が点検式に華を添え、見物客から大きな拍手と歓声があがりました。



タブレット端末を活用した実践報告 「古河市教育ICTフォーラム」を開催



▲ジェスチャーやユーモアを交えた、堂々とした子どもたちのプレゼンテーション

4回目の開催となる「古河市教育ICTフォーラム」が、2月25日・26日の2日間、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で行われました。

平成27年度からICT教育を推進している古河市の取り組みを学ぼうと、全国から教員や自治体職員など約1,000人が参加。総務省や文部科学省の担当官による基調講演、プログラミングに関するワークショップ、市内教員による実践報告に、参加者は熱心に聞き入っていました。特に、タブレット端末を活用した児童生徒のプレゼンテーションには大きな拍手が送られ、最先端の教育環境での学習を楽しんでいる様子が会場に伝わりました。



古河桃むすめが首相訪問 「古河桃まつり」をPR



▲一足先に首相へ春をお届けしました

2月22日、古河桃むすめ4人が安倍晋三首相を表敬訪問しました。古河桃むすめの増田絵菜さんがハナモモの花束を贈呈。安倍首相は、「いい香りだ」「大変きれいだね」と笑顔で受け取りました。

同行した針谷市長が約1,500本のハナモモが咲き誇る古河桃まつりをPRすると、「圏央道が開通することで、多くの観光客が訪れるのではないかと期待しています」と首相から応援の言葉をいただきました。

また、2月24日には、古河桃まつりの会場となる古河公方公園(古河総合公園)がハナモモの開花宣言をしました。

姉妹都市 だより

古河市 & 真室川町 歴史で結ぶ少年少女の集い



昭和63(1988)年に山形県真室川町と旧総和町が姉妹都市盟約を締結してから始まった、子どもたちの姉妹都市交流。毎年度交互にお互いの市町を訪問し、絆を深めています。今年は2月17日～19日に、市内小学5・6年生30人が真室川町を訪問。真室川町の小学5・6年生25人と、雪上でのレクリエーションやスノーキャンドルづくりなど、雪国でしか味わえない貴重な体験で友情を深めました。

「また、必ず会おうね」「とても楽しかったよ」と別れを惜しむ子どもたち。3日間の思い出を胸に再会を誓いました。

キラッ! 輝く人たち

五穀豊穰と家内安全を祈願し、神前に奉納する磐戸神楽。江戸時代の宝暦10(1760)年から約260年もの間、大和田に住む男性によって伝承されてきた神事です。

昨年、長い伝統の中で初めて女性の神楽士が誕生し、伝統文化に新たな風が吹きこまれました。4月2日に奉納する神楽の練習に励む二人にお話を伺いました。

伝統文化を継承するために

神楽の始まりは、五穀豊穰等を願って近隣の神官たちが中心となり鷺宮神社(埼玉県久喜市)で神楽を習得し、地域の神前で奉納をしたことだと伝えられています。

明治時代になると神官による継承が難しくなりましたが、農家の長男が受け継ぎ、毎年絶えることなく神楽を奉納してきました。

近年は、神楽の後継者を確保することが非常に難しくなり、男性に限らず加入することを検討してきましたが、伝統を「守る」か「継承する」かで意見が分かれ、女性の加入には時間がかかりました。

しかし、磐戸神楽保存会の関根会長を中心とした粘り強い話し合いが実を結び、昨年初めて女性神楽士が誕生しました。

神楽は特別なもの。緊張感が違う。

伝統継承の候補者として白羽の矢が立ったのは、大和田囃子会で活動していた平山広美さんと中村理恵さんでした。

子どもの頃からお祭りが大好きで、おはやしには特に憧れていた二人。小学校のPTA役員に就いたのがきっかけで、大和田囃子会に誘われ、10年以上のキャリアを持っていました。

「神楽でのおはやしは楽譜やマニュアルがなく、見たり聞いたりして覚えなければならず、最初はすごく戸惑いました。神楽が持つ

「神楽士として恥じぬよう」

左：平山 広美さん（大和田）

右：中村 理恵さん（関戸）



神聖な雰囲気は緊張感が全然違うので、ドキドキの連続でした」と笑いながら話します。

伝統に恥じないように練習を

太鼓(代拍子)や、しの笛のおはやしは4拍子や8拍子とも違う独特なもの。「分からないことは、積極的に先輩に聞くようにしています。そうすれば、理解できるまでしっかりと教えてもらえるんですよ」と話す顔は真剣そのもの。

今年からは、おはやしだけではなく「舞」にも挑戦することになりました。普段と違うゆっくりとした動きの連続なので、練習後は必ず筋肉痛になってしまうとのこと。

平山さんと中村さんは「12座」ある舞の中の「2座」を披露します。伝統文化を継承する熱い思いを持った二人から目が離せません。

※10月中旬開催予定の「さんさんまつり」でも披露されます。



しの笛を吹く平山さん



代拍子をたたく中村さん



【一般書】

○直虎と直政

岳真也 著

戦国時代末期。血みどろの策謀渦巻く奥三河の地で、おんな地頭として一族と領地領民を守り抜き、井伊の赤鬼と恐れられた宿縁の養嗣子＝直政を育て上げた次郎法師直虎。数奇な運命に彩られた幕臣筆頭井伊家中興の2人の実録。

出版社…作品社

分類…Fガ



ルーの夫婦をモチーフに紡ぐ、夫から認知症になった妻へのラブレターを、さだまさしが翻訳。

出版社…千倉書房

分類…726カ



【児童書】

○ドールハウスはおばけがいっぱい

柏葉幸子 作

小学生の女の子が、美術館館長のアルバイトをはじめました。「おばけ美術館」館長のまひるは、気がついたらドールハウスの中へ。どうしたら元に戻るの？ ふしぎな事件がいっぱいの「おばけ美術館」シリーズ。

出版社…ポプラ社

分類…913ド

○こんやもバクはねむらない

澤野秋文 作

なぜ夢を見られるのか知っていますか？ 実はたくさんのバクたちが、毎晩夢を配ってくれているのです。新米のピケが、先輩の指導のもと、幸せな夢を見せようと材料を集めてきますが、はりきりすぎて、つい失敗してしまい……。

出版社…講談社

分類…Eコ



○とても温かでとてもせつないきみの絵本

ジュヌヴィエーヴ・カスターマン 著
さだまさし 訳

長く幸せにくらしてきたカンガルーの夫婦。でも、ある日、妻はそんな日々の記憶を失いはじめ……。擬人化したカンガ



古河図書館



～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「グローバルな人材になれるよう」

平河ヒューテック株式会社 飯田千里 さん

電線や電送ケーブルのほか医療用チューブの製造を行う平河ヒューテック(株)で医療製品の生産管理をしている飯田さん。

入社きっかけは、高校の先生やすでに就職している先輩たちから「とても働きやすい」と勧められたからです。

就職してからは毎日が初めての連続でしたが、好奇心が旺盛な性格だったことや優しい同僚がたくさんいたこともあり、とても楽しく仕事ができそうです。

そんな飯田さんの悩み種は「英語力」。昨年から配属になった生産管理部門では、フィリピンやタイにある営業所とやり取りすることが多くなりました。メールや注文票は基本英語での対応となるため、翻訳ソ

フトを使用しながら対応をしていますが、「学生時代にもっと勉強しておけばよかったです。就職してから英語がこんなに必要になるとは思わなかった。非常に後悔をしています」と笑いながら話す飯田さん。

入社11年目を迎える今年の目標は「ズバリ、英語力の向上と一歩先を見越した生産計画を立てられるようになること」。

飯田さんの今後の成長が楽しみです。

■プロフィール
趣味のエアリアルヨガが終わってからの友達とのランチが毎週の楽しみ。
28歳・下辺見在住。





第4回「古河市健康川柳」が 決定しました

市民の皆さんが自らの健康を考え、生活習慣や食生活に対する関心を高める機会となり、より多くの人に特定健診や特定保健指導を受診・利用していただきたいという思いから始めた「健康川柳」は、今回で4回目を迎えました。

今年度のテーマは「減塩」。各庁舎や健診会場で募集を行い、約40作品の応募がありました。前年よりも応募数は減少しましたが、健診会場で、「毎年、川柳を楽しみにしている」という声や、鉛筆を握りながら真剣に考えている人たちの表情は、とても印象に残っています。

応募作品は、減塩についての実体験によるものや、家族を思っている内容を川柳にしているものが多くありました。どの作品も応募者の熱い思いが感じられました。

選考方法は、一次選考を通過した5作品の中から健診受

診者に投票していただき、入賞作品を決定しました。有効投票数は823票。あらためて皆さんの関心の高さを感じました。

投票の結果、今年度の入賞作品は右記のとおり決定しました。入賞作品は、各庁舎や健診会場に掲示したり、健診をお知らせするパンフレットに掲載したりするなど、さまざまな健康づくり事業に活用させていただきます。たくさんのご応募・ご投票ありがとうございました。

自分では健康だと思っても、病気によっては自覚症状がなく進行する場合があります。しかし、健診によって早期に発見し治療をすることで、心身への負担や経済的な負担の軽減につながります。自分だけでなく、家族も安心して生活していくために、年に一回は特定健康診査やがん検診を受けましょう。

健康づくり課

健康川柳入賞作品

最優秀作品

292票
獲得

うす味で 保つ健康
家族愛
倉本 清(尾崎)

優秀作品

226票
獲得

薄いかな？
と思うくらいが
いい塩梅
関 明美(本町)

117票
獲得

減塩の 優しい味が
呼ぶ長寿
矢内 弘(駒羽根)

※敬称略。



見事、最優秀作品に選ばれた倉本清さん(74歳・尾崎在住)に インタビューをしてきました！



▲今回で2回目の受賞。「家族も喜んでいます」と話す倉本さん

Q 作品にはどのような思いが込められていますか？

A ついつい、味付けが濃いみそ汁や漬物を好んでしまいます。家族は「じいちゃん血圧が高めだから、塩分は控えめで薄味がいい」と、いつも健康を案じてくれています。

自分にあった健康づくりで「保つ健康」と、いつも気づかってくれる「家族の愛」を詠みました。

Q 健康の秘訣はありますか？

A 毎日1時間程度の散歩と昼寝です。また、小さなことにも「幸せ」を感じることです。

憩いのパークの魅力

ネーブルパーク研修センター 「平成館」の1年



4月、春風に桜の花びらが舞い、若草も日増しに伸びるこの頃。平成館では、新しいスーツや制服に身を包んだフレッシュな人たちが出入りする季節です。

開館から25年の間で感じることは、季節によって利用目的に特色があり、利用者の顔ぶれが変わっていくことです。

春。最も多いのは企業による新人研修です。約1カ月間、初々しい新入社員が、真剣な眼差しで研修を受けています。

5月のゴールデンウィーク。ネーブルパークは、人と自然とのふれあいをテーマに開園しました。ログハウス風の宿泊施設「キャビン」だけでなく、自然を感じに平成館にも多くの人たちが宿泊します。

夏。幼稚園児・保育園児が、昼間は芝生やアスレチックで駆け回り、夜はキャンプファイアで、印象的な思い出を作っていきます。

そして、秋は何といっても

「菊まつり」。宿泊だけでなくレストランで行っている、「秋の味覚メニュー」を多くの人が楽しんでいきます。

菊まつりが終わると季節は冬になり、平成館では、「クリスマス宿泊パック」、「つどい」などを企画しています。多くの利用者が、仲間や家族と食事を楽しみ、暖かい部屋でのんびりと疲れをとっているようです。

1年を通して平成館には多くの人を訪れます。私たちも「また利用したい」の言葉を励みにこれからも頑張ります。
【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」

☎91-2080



▲これから始まる新生活が楽しみです



表紙写真



3月10日に行われた三和中学校の卒業式。式典の時に「^{あおげば}尊^{どうと}し」を歌いながら涙する生徒がたくさんいました。それだけ楽しく、思い出深い学校生活だったのでしょう。

卒業式が終わった後の最後のホームルーム。話が尽きない3年1組にお邪魔して担任の小嶋先生を中心に「ハイチーズ!」。中学生活の締めくくりはやっぱり笑顔がいいですね。

10年後、もしくは20年後になるかもしれませんが、同窓会で集まったときは、広報紙の表紙に載ったことを思い出しながら、みんなで話してくださいね。

4月からみんな別々の新生活が始まりますが、これからもずっと仲の良い友達でいてください。

古河市データ

人口

(3月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,258人 (+28)
男 72,610人 (+32)
女 71,648人 (-4)
世帯数 59,634世帯 (+76)
() 内は前月比



わが家のアイドル



「わが家のアイドル」コーナーに、たくさんの応募ありがとうございます。
今月は、元気でかわいい「古河っ子」を大特集。すくすく大きくな～あれ。



山中 ゆり 優利くん (1歳0カ月・久能)

パパ・ママ・家族みんなに愛され、
すくすくヤンチャに成長しています♪
きれいなお姉さんと、猫ちゃんが大好き♥
もうすぐ1歳！保育園でお友達が
たくさんできますように♪

(父：直樹 母：智美)



山口 ひめり 姫凜ちゃん (7カ月・仁連)

昨年うろごもの夏、元気な産声をあげて生ま
れてきてくれた姫凜ちゃん。月愛お姉
ちゃんがずっと心待ちにしていたんだ
よ。いっぱい笑って、楽しい毎日をた
くさんつくっていきましょうね。

(父：俊幸 母：香織)



北山 こう 煌くん (3歳5カ月・中田)

いつも元気いっぱい、やんちゃな煌
くんです。兄うらうの凌うらうくんと、いつも元氣
に遊んでいます。妹あでの楓ちゃんには優
しいお兄ちゃんです。いつまでも優し
い気持ちを忘れず、強く大きくなっ
てね♥

(父：仁 母：純恵)



菌部 けんしん 謙心くん (1歳6カ月・大山)

車と食べることが大好きなけんち
ゃん★最近最近はできることも増えて、いろ
んな表情をみせてくれるね！これか
らたくさんいろんな経験をして、大き
くなってね♥

(父：仁 母：麻衣子)

平成29年4月1日発行

●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.ibaraki-koga.jp/>

0280 (92) 3111